



名誉賞を喜ぶ芳田聡さんご家族と出品された牛「おりよう」

盛岡北部畜産共進会 名誉賞に芳田聡さん

第18回盛岡北部畜産共進会は6月22日、JA新しいわて種子センター（岩手町）で開催され、本町のほか岩手町、盛岡市玉山地区からホルスタイン種30頭、黒毛和種65頭、日本短角種18頭、合計113頭の牛が出品されました。

本町からは黒毛和種の部に15頭出品され、第3類（13～16ヶ月未満）で東館直樹さん（吉ヶ沢）の「てつこ」が、第4類（初産、2産）で芳田聡さん（吉ヶ沢）の「おりよう」がそれぞれ1等賞を受賞。また、第4類1位の芳田聡さん出品牛が、経産の部の最高位に当たる名誉賞に輝きました。

葛高神楽甲子園出場 壮行式で迫力の演舞

第9回高校生の神楽甲子園の壮行式は7月9日、総合センターで行われ葛巻高校（木村基校長、生徒131人）の郷土芸能部（部員10人）が約40人の観衆を前に若さ溢れる迫力ある舞を披露しました。

本番は7月27日と28日の2日間。広島県安芸高田市の神楽ドームで開催され、同校は7年連続で出場しました。部長の上野大地さん（3年）は「他県の文化を学び、現地の人と交流を深めるとともに、葛巻神楽や町の良さをアピールしてきます」と力強くあいさつ。鈴木重男町長は「エネルギーに演舞してきてください」と激励しました。



力強い舞を披露する葛巻高校郷土芸能部の皆さん

地域を伝える講演会 まちづくりに手応え

くずまき型DMO「まちなか検討部会」第1回講演会は7月16日、新町地区の町家で開催され、同部会員ら約20人が参加し地域を伝えるとは何かを考えました。

山梨県でフリーマガジン「BEEK」を発行し、独自の発想と切り口でイベントを仕掛けている講師の土屋誠さんの講演に、参加者たちは「今あるものでまちづくりが可能だと確信した」「町の良さを伝えようとするれば誰でもできるような感じがした」などと感想を話し、まちづくりへの刺激を受けたようでした。



土屋誠さん（円内）の講演に真剣に耳を傾ける参加者たち



シラカバの木々が生い茂る森に寝転んで山田証さん(中央)の歌声に耳を傾ける参加者たち

安孫で森の歌会♪ 寝転び自然を体感

「森の歌会2019」は6月23日、安孫地区で町内外から10人が参加して開催されました。

訪れた人たちはシラカバが生い茂る森の中に寝転び自然を体感しながら、森のシンガーソングライターとして全国を巡り、森の楽しみ方を広めている山田証さんの透き通るような優しい歌声に耳を傾けました。また、山田さんの森を包み込む優しい歌声に「声が素敵だった。今度は知り合いも誘いたい」「自然をすごく感じた」などと感想を話し、自然の中でのコンサートを満喫していました。

サクラ並木に思いはせ 和気あいあい50本植樹

6月22日、小屋瀬地区の準用河川土谷川の築堤沿いで植樹会が行われ、小屋瀬自治会と（公財）岩手県土木技術振興協会の職員ら31人が参加し、オオヤマザクラ50本を植樹しました。

この植樹会は、平成14年に発生した豪雨災害で被害を受け、河川災害復旧により復旧した河川環境の美化のため、サクラ並木を作ろうと企画。同協会から補助金の支援を受け、町が主催したものです。参加者たちはサクラ並木通りを思い描きながら、小岩井農牧株から植樹指導を受け、和気あいあいと作業を進めました。



植樹したオオヤマザクラ(右奥)を背景に記念撮影をする参加者の皆さんと植樹の様子(円内)

七夕に「肉コン」開催 会話弾ませ和やかに

くずまき出会いサポート協議会（遠藤中会長、会員9人）主催の「肉コン」は7月7日、町内外から男女32人が参加し、森のこだま館などでにぎやかに行われました。

始めに男女に分かれてプロフィールを記入。婚活セミナー講師による「作戦会議」と称した講義を受講し、異性との上手な接し方などについてのアドバイスを受けました。初めて顔を合わせた時は、緊張している様子でしたが一緒に食事することで会話が弾み、アドバイスを意識しながら積極的に交流を深めていました。



男性参加者に気遣いのポイントを説明する婚活セミナー講師の武田学さん